

番号	施策	事業 【H30決算額】	KPI（重要業績評価指標）								担当課による今後の方向性及び意見	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価	意見
1	農林水産物の振興	生産総合事業 【1,135,555千円】 トップセールス事業等 【3,200千円】	認定農業者数	1,049	1,054	1,040	1,045	1,024		1,075	0%	現状のまま継続	現状のまま継続	・経営面積の拡大だけでなく、単位収量の増加や価格が高い時期の収量の増という方向性を重視すべきではないか。 ・今後も、農業者数は高齢化、離農等により減少する事が予想されます。しかし、水田農業においては集落営農組織を法人化し、地域の担い手とする等の対策をおこなっており、認定農業者数だけで事業効果を評価する事は困難であると思われる。 ・玉名市及び玉名地域の重要な基幹産業という視点で見ると、「認定農業者数」と「主要農産物の経営面積」をKPIとして設定することに違和感がある。
			主要農産物の経営面積(単位:a) 温州みかん	97,412	-	-	-	-		98,000	測定不能※農林業センサスより			
			主要農産物の経営面積(単位:a) いちご	9,703	-	-	-	-		9,800	測定不能※農林業センサスより			
			主要農産物の経営面積(単位:a) トマト・ミニトマト	21,472	-	-	-	-		22,000	測定不能※農林業センサスより			
2	農林水産物の担い手育成と受皿づくり	新規就農者支援事業 【42,911千円】	新規就農者数	9	11 【目標達成】	5	7	6		20 当初目標 (10)	0%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・農林水産物の担い手の育成については、新規就農者を増やすだけでなく、営農組織の組織化や法人化等の施策も必要ではないか。
3	農林水産物を活用した商品の開発と販路拡大	商品開発事業 【5,023千円】 販路開拓事業 【3,023千円】	6次産品売上高(単位:千円)	82,540	61,900	58,277	50,683	45,765		160,000	0%	縮小して継続	縮小して継続	・6次産品の開発については加工業者、2次産業への働きかけを強化していく視点も必要。6次産品の開発には、健康増進という視点が必要であり、そのためには大学や健康産業との連携も必要ではないか。 ・個々の農業者で他の地域の類似品との差別化やリピーターが付くような魅力のある商品開発、販路拡大等は困難であると思われるため、商品開発から数年間は「ふるさと納税」返礼品等での利用等の支援対応も検討して欲しい。
			6次産品開発数(累計)	59	66	69	72	79		90	64.5%			
4	新規企業の誘致と雇用創出	新規企業誘致事業 【4,074千円】 既誘致企業アフターフォロー事業 【251千円】	誘致企業の玉名市在住就業者数 (年度末時点)	1,052	1,038	1,078	1,096	1,052		1,059	0%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・既存の誘致企業等とのコミュニケーションを活性化し、誘致に関する課題(ニーズ)の掘り起こしを行い、それらを新規企業の誘致へつなげていく。 ・まずは、新奨励制度の幅広い周知が望まれます。 ・新たな奨励制度による誘致活動に期待。特に、業種を問わず新規事業計画作成段階から商工会議所等の経済団体との協力体制により、また施策1~3との連携を図ることで、玉名地域として独自性のある誘致事業が創出可能。
			誘致企業数(立地協定締結企業数) (年度末時点)	24	24	24	24	24		29	0%			
5	起業家の創業支援	創業支援事業 【0千円】 空き店舗対策事業 【0千円】	創業者数	5	7	4	1	0		13	0%	現状のまま継続	現状のまま継続	・4月からの新奨励制度の支援内容について、創業希望者の意見を聴取し、創業者にとって支援内容は十分であるか、周知方法は効果的であるか検証したうえで、積極的な取組みを期待する。
			空き店舗数 (年度末時点)	57	63	66	71	64		44	0%			
6	市内企業・就業者の支援	中心市街地活性化事業 【0千円】 地元就職支援事業 【532千円】 商工団体振興事業 【18,011千円】 中小企業支援事業 【150千円】	中心市街地新規出店数	7	8	4	1	0		10	0%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・中心市街地である高瀬地区の広い空地は、市のイメージを低下させていると考えられる。高瀬裏川や高瀬の街並みと連携できる観光施設の整備等、市としての積極的な取組みを期待する。 ・創業支援とともに、後継者育成等現在ある企業の事業承継の支援にも力を入れていく必要があるのではないかと。
7	インバウンド事業の推進	外国人観光客誘致事業 外国人観光客受け入れ態勢強化事業 【上記2事業 1,875千円】	外国人宿泊観光客数	1,000	2247 【目標達成】	1,373	2,030	2,984		3,500 当初目標 (2,000)	79.4%	拡充して継続	拡充して継続	・玉名市以外の自治体との協力体制をさらに強化し、継続的な誘客プロモーションを展開。今後は、民間事業者との情報共有を強化し、施策と実状の乖離を埋める事業を展開。 ・受け入れ態勢の充実を図るため、外国人向け商品を扱う専門店を起業、あるいは誘致等はできないか。
			香港、台湾からの玉名市ホームページへのアクセス数	1,680	-	1,661	1,839	2,269		5,000	17.7%			

番号	施策	事業 【H30決算額】	KPI（重要業績評価指標）								担当課による今後の方向性及び意見	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価	意見
8	着地型旅行商品開発の推進	周辺自治体や市内関連団体との連携による着地型旅行商品開発事業【407,589円】 「夏目漱石」記念年事業【0千円】 玉フェス開催事業【3,000千円】 イベント誘客事業【15,172千円】	着地型旅行商品参加者数	70	188	209	135	218		200	100%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・旅行者の属性（県内・他県、性別、年齢別、宿泊の有無等）の分析はできているのでしょうか？そのことが新しい提案等につながるのではないのでしょうか。 ・イベント参加者は、回復傾向にあるようであるが、各種イベント間をつなぎ、リピーターを増やすような工夫があってもよいかと感じた。
			イベント参加者数 等	386,141	358,358	294,818	330,089	332,864		400,000	0%			
9	スポーツツーリズムの取り組み推進	スポーツ大会・合宿誘致事業【6,982千円】 既存スポーツ大会の魅力向上事業【0千円】 玉名市ならではの自然環境を活かしたアウトドア・スポーツツーリズムの推進事業【1,416千円】	新規スポーツ大会の誘致・開催数	1	1	4	4	4		4	100%	・現状のまま継続	・現状のまま継続	・既存商品（既存イベント）のブラッシュアップ及び地域コンテンツの掘り起こしによる新規プログラムの造成が必要。特に、定着しつつある「ランイベント」については、唯一無二のキラコンテンツを中心に多角的な展開を行うため、「スポーツコミッション」組織を形成し、継続的な取り組みを行う体制づくり。 ・桃田運動公園と市内旅館をリンクして大学、社会人の運動部の合宿の招聘。
			新規スポーツ大会への参加者数	113	206	700	846	368		500	65.9%			
10	玉名版DMOの構築	玉名版DMO構築事業 マーケティング機能強化事業 受け入れ態勢整備事業【上記3事業 20,999千円】 各協議会等連携・支援事業【20,455千円】 玉名ブランド推進事業【6,840千円】	玉名版DMOによる雇用創出数（累計）	-	0	4	4	4		5	80.0%	・拡充して継続	・拡充して継続	・一過性でなく、リピーターを増やす（移住政策に結びつくような）取り組みが望まれます。 ・マーケット機能の強化と受け入れ体制の強化。 ・阿蘇地域や天草地域、熊本市と異なり、玉名市だけでは継続的に多くの観光客を呼び込める観光資源が乏しいのではないか。そのため、観光振興のためには荒尾玉名地域、そして山鹿地域、菊池地域との連携が必要ではないか。
			入込観光客数	2,468,776	2,302,517	1,528,135	1,707,834	2,243,733		2,500,000	0%			
			温泉旅館等宿泊数	100,742	107,081	129,242	109,496	110,462		110,000	100%			
			物産展における玉名ブランド認定品等販売額	1,912,125	2,252,370	2,384,246	3,210,850	4,580,770		3,000,000	100%			
11	医療・福祉の充実	玉名産学官連携地域福祉推進事業 医療・介護をはじめとする玉名地域の多職種連携体制の構築【全事業 0千円】	九州看護福祉大学卒業生の市内への就職者数	9	11	5	6	1		20	0%	・現状のまま継続	・現状のまま継続	・「医療・福祉の充実による雇用の創出」を基本的方向とし、KPIを「九州看護福祉大学卒業生の就職者数」とされているが、医療・福祉は生活環境の重要な要素であり、医療・福祉の充実により「人を呼び込む」という視点でとらえるべきではないか。 ・大学と地域のパイプ役として、市内就職者数の増加に向けた創意工夫の取り組みが必要である。
12	玉名市への転入の促進	定住希望者登録事業【0千円】 定住相談会参加事業【431千円】 定住促進補助事業【46,899千円】 市内企業従業員・学生のファミリー転入促進事業【0千円】 おためし暮らし事業【282千円】 空き家バンク事業【0千円】	移住支援施策を受け転入した転入者数	119	194	108	136	142		200	28.4%	・拡充して継続	・拡充して継続	・転入補助金の拡充 ・県と連携した促進事業をさらに強化して展開。また、既存住民を巻き込む事業展開を期待。受け入れ態勢については本総合戦略における施策間連携が必要。 ・実際に移住した方に情報発信の主体となって頂く。 ・就職や進学で玉名市を離れる方へ定期的に市の情報を提供する制度を考えてはどうか。道路整備や治水対策が追い付いてない地域があるのではないか。転入を促進するためにはそうした生活環境の整備が必要ではないか。

番号	施策	事業 【H30決算額】	KPI（重要業績評価指標）								担当課による今後の方向性及び意見	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価	意見
13	若い世代の結婚希望の実現	広域連携による結婚希望者への支援 【7,625千円】	成婚者数(単位:組)(荒玉郡市の5年間の累計)	25	6	13 (7)	28 (15)	40 (12)		55	50%	・現状のまま継続	・現状のまま継続	・地域性のある婚活イベント等が充実しており非常に効果的。今後は、トレンドに沿った企画を期待。また会員登録者やイベント参加者の年齢層を検証し、若年者層の枠を超えた受入れ態勢の整備も必要。
			結婚サポートセンター会員数(荒玉郡市の合計)	1,200	1,459	1,834	2,131	2,446		2,000	100%			
14	切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実	次世代育成母子保健事業 【2,507千円】 乳幼児健康診査事業 【10,224千円】 利用者支援事業(母子保健型) 【3,049千円】	訪問指導率(従来の一般的訪問指導)	85.2%	89.7%	89.2%	97.7%	97.3%		90.0%	100%	・現状のまま継続	・現状のまま継続	・施策の推進そのものが人的要因に影響されている点について、十分な考慮が必要。民間事業者や地域外における状況把握等を行い、企業誘致・創業支援等の施策との連携を検討。 ・本市においても日本型ニューボラの取り組みが行われていることがわかった。虐待防止や少子化対策にもつながる取り組みであるため、引き続き取り組みを行ってほしい。
			妊娠11週以内の妊娠届出数の割合	91.2%	94.6% 【目標達成】	96.0%	95.4%	96.0%		94.0%	100%			
			低出生体重児の割合	8.6%	7.8%	10.5%	10.4%	10.3%		6.0%	0%			
			この地域で子育てをしたいと思う親の割合	—	—	96.8%	95.5%	95.4%		65.0%以上	100%			
			思春期保健講座等の開催回数	4	1	2	6	0		7	0%			
15	子育て支援の充実	幼児期の教育・保育施設事業 【43,072千円】 地域子育て支援事業 【51,904千円】 子ども医療費事業 【226,851千円】 放課後児童健全育成事業(学童保育) 【122,434千円】 発達障がい児への支援対策事業 【0千円】	認可保育所(園)の待機児童数	20	—	—	12	31		0	0%	・拡充して継続	・拡充して継続	・転入施策を早期実現させるためにも、早急な待機児童数0が望まれる。 ・健康な女性が働けない状況をつくらないことが、人材不足・就労者不足対策において重要。 ・待機児童解消のためには、施設整備や保育士確保だけでなく、個別のケースで、保護者の希望と各施設とのマッチングを強化することが必要ではないか。旧市役所跡を利用し、文化センターとも連携させながら、妊娠、出産、育児から小中学生までくわいの子供や保護者を支援する施設を整備してはどうか。
			学童保育クラブ数	12	14	13	14	18		16	100%			
16	特色ある学校づくりの推進	特色ある学校づくり事業 【84,029千円】 特色ある学習活動の導入 【11,423千円】	学校生活が楽しいと考える児童・生徒の割合	93.4%	—	93.7%	93.5%	93.6%		95%以上	12.5%	・現状のまま継続	・現状のまま継続	・児童生徒の「楽しさ」をKPIとする点に違和感。学校に行かない選択という新しい価値観がある中、施策としての改善点を議論。地域の高校・大学とも連携した新たな施策が必要。
17	公共交通の利便性の向上	地域公共交通対策事業 【118,948千円】	路線バス、乗合タクシーの利用者数	929,031	871,753	844,883	830,951	809,203		930,000	0%	・拡充して継続	・拡充して継続	・今後社会問題化するであろう限界集落等の対応についても重要なファクターとなりえることから拡充による継続を期待する。 ・人口減少社会の中で、公共交通利用者の減少はやむを得ないが、利用実態の分析や利用者のニーズの的確な把握を行いながら、最も適した公共交通を検討し利便性の確保及び効率的な運行に努めていただきたい。
18	高齢者福祉の充実	高齢者等生活支援事業 【11,379千円】	支援事業利用者数	17,551	18,195 【目標達成】	18,483	17,121	16,752		22,000 当初目標 (18,000)	0%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・バスを利用することも困難となりつつある現状に対して、現在の対応策では限界がある。移動手段を含めた生活支援により、対象者の家族が安心感をもてる事業が必要。
19	防災体制の強化	防災体制強化事業 【19,305千円】 防災情報システム整備事業 【168,314千円】 消防団活動推進事業 【161,454千円】	避難行動要支援者登録者数	1,623	1,543	1,524	1,561	1,461		2,000	0%	・拡充して継続	・拡充して継続	・水害に対するハザードマップの更なる充実と避難場所等の認知度を高める施策を期待する。 ・近年の気象異変により過去の経験に無いような大きな災害が発生している地域もあります。今後は玉名市全体の防災体制強化としての取り組みとして拡充して継続することが望ましい。
			自主防災組織結成率(258行政区)	66.7%	76.0%	77.4%	78.7%	80.1%		100.0%	40.2%			

番号	施策	事業 【H30決算額】	KPI（重要業績評価指標）								担当課による今後の方向性及び意見	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	評価	意見
20	安全なまちづくり	防犯灯設置補助事業 【19,169千円】	防犯灯のLED化率	13.1%	28.7%	38.4%	51.4%	63.4%		47.0%	100%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・「安全なまちづくり」に対するKPIに違和感。他の関連施策と連携し、防犯灯設置に伴う監視カメラ等防犯設備について地域住民と協同で進める仕組みを構築。
21	公共施設等の総合的な管理によるまちづくり	公共施設適正配置事業 【250千円】	市保有公共施設の延床面積(単位:m ²)	310,806	-	300,757	305,120	300,991		306,358	100%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・激しい時代の変化に対応しながら、各施設の社会的機能を検証し、企業の投資対象として魅力ある環境整備を促す。また、立地する地域の魅力向上にも配慮。 ・公共施設の面積だけでなく、施設の内容充実にも注力すべきと 思料する。
22	玉名市民・市内企業・行政の協働促進	玉名ご当地行政ポイント付与事業 【4,268千円】	たまなスタンプ会加盟店数	120	119	114	115	110		150	0%	・執行方法の改善	・執行方法の改善	・市民や企業との協働の促進のための施策が、行政ポイントの付与だけというのいかなものか。市民の意見を行政が直接聞き、施策に反映させる制度の創設や充実を施策としてはどうか。
23	企業・団体や周辺自治体との協働促進	広域連携事業												

※1達成率:達成率については、基準値が目標値を達成した場合は100%。それ以外については目標値に対する進捗率で表示。進捗率は、(H30年度値－基準値)／(目標値－基準値)×100